全国　定点把握感染症　2026年 第43週 （2026.10.19～10.25）

（定点当たり報告数）

（定点当たり）		ARI定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点				
		急性呼吸器感染症[1]	インフルエンザ[2]	新型コロナウイルス感染症[3]	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	ロタウイルス胃腸炎[4]	細菌性髄膜炎[5]	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎[6]
愛媛県		82.05	22.82	0.66	0.52	0.14	3.90	3.19	0.29	0.38		0.48	0.57	0.05		0.38				0.17	
近県	香川県	41.48	3.30	0.30	1.15	0.08	0.46	2.85		0.08			0.62			0.80				2.20	
近県	徳島県	34.21	6.18	0.55	0.57	0.05	0.76	2.86	0.14	0.14	0.71	0.19	1.29		0.25	0.25		0.14			
近県	高知県	44.38	5.77	0.72	0.81	0.24	1.33	2.33	0.14	0.05		0.05	0.24							0.50	
全国		60.51	9.49	0.83	1.12	0.21	1.36	3.18	0.17	0.59	0.02	0.25	0.71	0.04	0.02	0.52	0.00	0.02	0.06	0.82	0.01
北海道		53.17	14.60	1.85	0.78	0.40	2.74	1.81	0.16	0.54	0.01	0.14	0.10	0.03		0.17			0.04	0.39	0.04
東北		72.92	10.42	0.90	0.64	0.11	1.56	2.22	0.23	0.47	0.01	0.25	0.37	0.01		0.16	0.02		0.02	0.55	0.05
関東		71.24	9.85	1.06	1.02	0.15	1.22	3.17	0.20	0.66	0.02	0.25	0.97	0.04		0.41		0.02	0.05	1.67	
甲信越北陸		59.64	9.24	1.01	0.96	0.13	1.22	3.19	0.11	1.71	0.04	0.23	0.98	0.02		0.37			0.08	1.06	
東海		55.60	8.18	0.65	1.55	0.16	1.15	2.85	0.14	0.48	0.02	0.22	0.93	0.07	0.01	0.09		0.05	0.05	1.72	
近畿		46.61	8.67	0.63	1.67	0.23	1.01	3.04	0.13	0.43	0.02	0.22	0.49	0.04		0.34			0.10	0.40	
中国四国		53.81	7.88	0.65	0.99	0.27	1.82	3.15	0.18	0.20	0.07	0.25	0.44	0.04	0.03	0.59		0.01	0.10	0.67	
九州沖縄		58.05	9.96	0.33	0.82	0.33	1.49	4.80	0.21	0.50	0.01	0.37	0.67	0.03	0.15	2.07		0.05	0.07	0.14	0.01

（10月28日集計）

1) 症例定義（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例）に一致し、急性呼吸器感染症と診断された患者。（インフルエンザ、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、クラミジア肺炎、新型コロナウイルス感染症、百日咳、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ肺炎等を含む。）

2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く.

3) 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る.

4) 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）.

5) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く.

6) オウム病を除く.

愛媛県感染症情報センター

全国　全数把握感染症　2026年 第43週 （2026.10.19～10.25）

| 類型 | | 二類 | 三類感染症 | | | | 四類感染症 | | | |